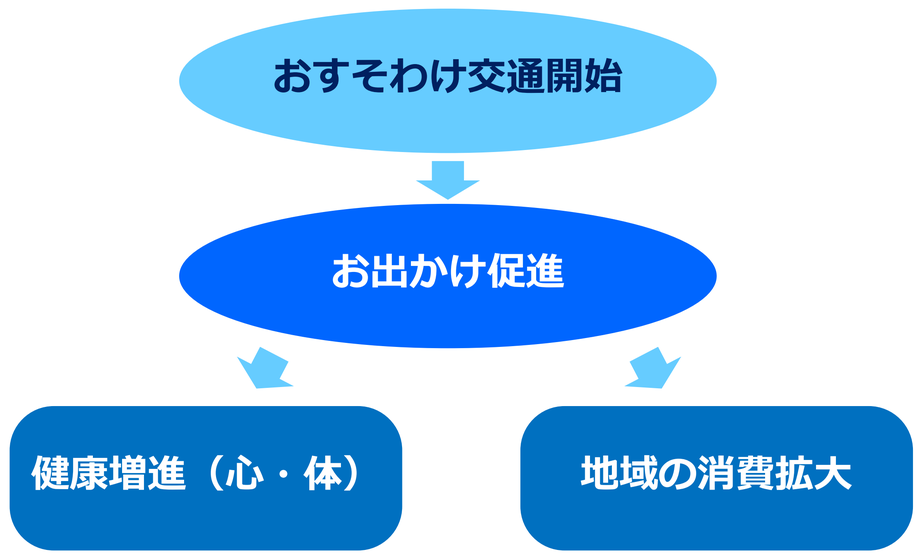
外出による健康増進を目指した「おすそわけ交通」がもたらす効果
－目的指向型運営の重要性－

西堀泰英1，大石一浩2，大西真央3，倉田和来3，松上了慈1，久枝地区まちづくり協議会，NPO法人まるっとおのくめ，NPO法人石井わくわく物語，土井勉4，鈴木雄5
（1大阪工業大学，2ネッツトヨタ瀬戸内(株)，3元大阪工業大学，4(一社)グローカル交流推進機構，5北海学園大学）

1 「外出による健康増進」を目指して

- 愛媛県松山市ではおでかけ困難を抱える高齢者を支えるため，複数の地区で地域主体型の移動サービスが運行されている．
- 運営主体らが開始した移動サービスを他のおでかけ困難者にも利用してもらうことから**「おすそわけ交通」**と名付けた．
- おすそわけ交通は**「外出による健康増進」を目的に始動**したものであり，様々な工夫がなされている．
- 本発表ではそれらによる多面的な効果の評価を通じておすそわけ交通の意義とともに，移動サービスの目的を指向して運営することの重要性を示す．



多面的効果発現の仮説

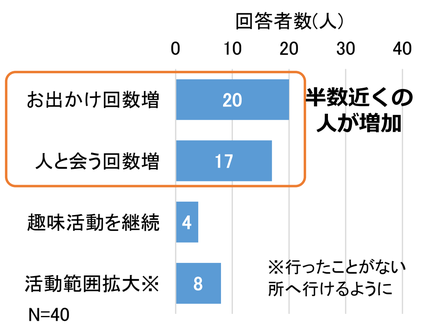
2 多様な効果を評価するための調査とその結果

- 多面的な効果は，お出かけ促進・健康増進・消費拡大の３つを想定した．効果把握のため，松山市の久枝地区，小野久米地区，石井地区の３地区のおすそわけ交通利用者を対象に調査を行った．
- このうち運行前時点の調査が可能だった石井地区のみ，消費額に関する調査を行った．

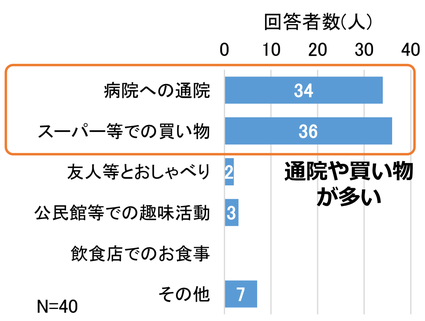
調査の概要

対象地区(運行開始時期)	ここで紹介する結果	対象者数
久枝地区(2021/1/1)	お出かけ実態，心の健康	40人
小野・久米地区(2022/5/20)	お出かけ実態，心の健康	18人
石井地区(2023/10/23)	消費額	4人

お出かけや人と会う回数が増加した人が半数近く

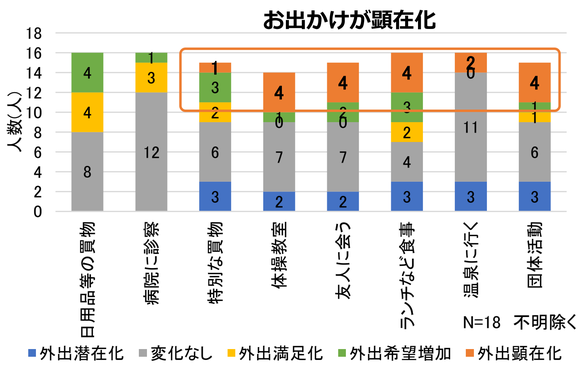


おすそわけ交通利用後のおでかけの変化（久枝地区）



おすそわけ交通の主なお出かけ先（久枝地区）

実現していなかったお出かけが顕在化

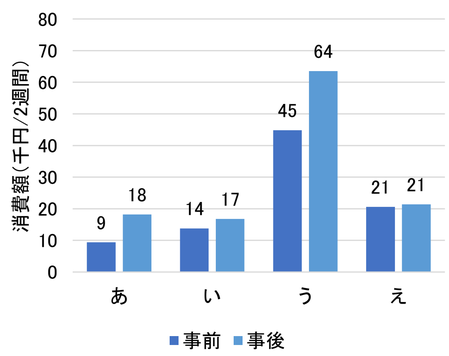


運行開始前後のお出かけの変化（小野久米地区）

事後の気持ち→ 事前の気持ち↓	行く-今がいい	行く-増やしたい	行かない-今がいい	行かない-増やしたい
行く-今がいい	変化なし	外出希望増加	外出潜在化	外出潜在化
行く-増やしたい	外出満足化	変化なし	外出潜在化	外出潜在化
行かない-今がいい	外出顕在化	外出顕在化	変化なし	変化なし
行かない-増やしたい	外出顕在化	外出顕在化	変化なし	変化なし

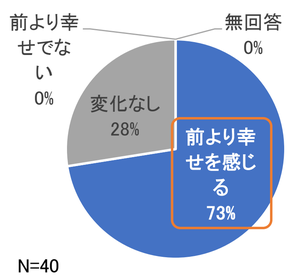
※外出しなくなった人は，体調が悪化したこと等を指摘する人が多い

消費額は増える傾向を確認もさらなる検証が必要

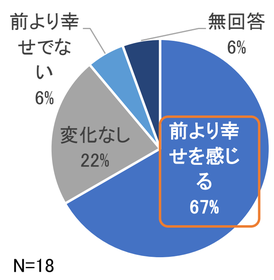


日常的と思われる消費額総額の変化（石井地区 4人分）

７割前後の人が前より幸せと感じる

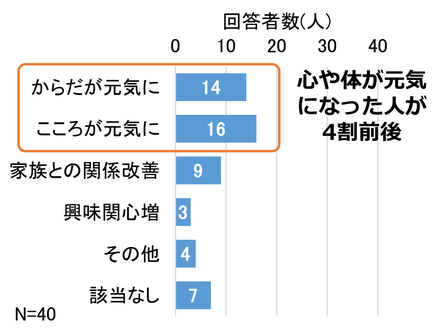


運行開始前後の幸福感の変化（久枝地区）



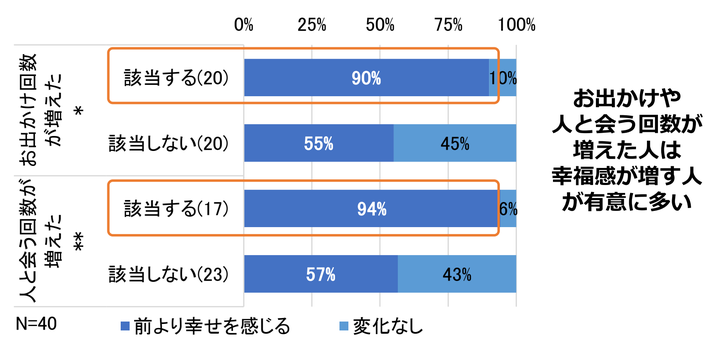
運行開始前後の幸福感の変化（小野久米地区）

４割の人が心が元気に



おすそわけ交通を利用するようになってからの暮らしの変化（久枝地区）

お出かけや人と会う回数の増加は，幸福感に有意に影響



運行開始前後の幸福感の変化×暮らしの変化（久枝地区）
（独立性の検定　**:<1%, *:<5%）

潜在化していた需要の顕在化も含めてお出かけの増加，幸福感の増加や心が元気になる効果を確認
消費拡大効果はさらなる検証が必要

3 「目的指向型運営」の重要性

- 以上の効果が得られた背景には，**単に移動サービスの提供にとどまらない様々な工夫**がある．例えば，利用回数による負担増を気にせず利用していただくための**定額制運賃制**，電話予約オペレータやドライバーや運営スタッフと**利用者との親密な関係の構築**や，利用者同士の**交流機会の創出**などがある．
- これらは，「おすそわけ交通」が「外出による健康増進」を目指していることを意識して運営する「**目的指向型運営**」により実現した成果と言える．
- 移動サービスを運行することの目的を明確にし，その達成に向けて注力するという基本を大事にすることが，目指す姿を実現するために重要であることを示唆している．

「おすそわけ交通」が目指すもの
外出による健康増進

目指すものを実現するためにやるべきことをやる！
【目的指向型運営】

そのための様々な工夫の例

- **定額運賃制**により回数を気にすることなく利用可能
- 運営スタッフと**利用者との親密な関係の構築**
- 定期的なお茶会等を開催し**利用者同士の交流機会創出**

工夫により多様な効果の発現へ

本発表の一部は大林財団の助成によるものです．また，調査は松山アーバンデザインセンターのご協力を得て実施しました．調査には多くの方々に回答いただきました．心より御礼を申し上げます．